

# 第5回 滋賀県総合教育会議の結果について

文教・警察常任委員会資料  
平成27年11月25日(水)  
教育委員会事務局教育総務課

## 会議次第

平成27年11月6日(金) 14:00~16:00  
県庁北新館5-A会議室

### 1. 本県における特別支援教育について

【ヒアリング】

1. 県立野洲養護学校校長 重森 恵津子

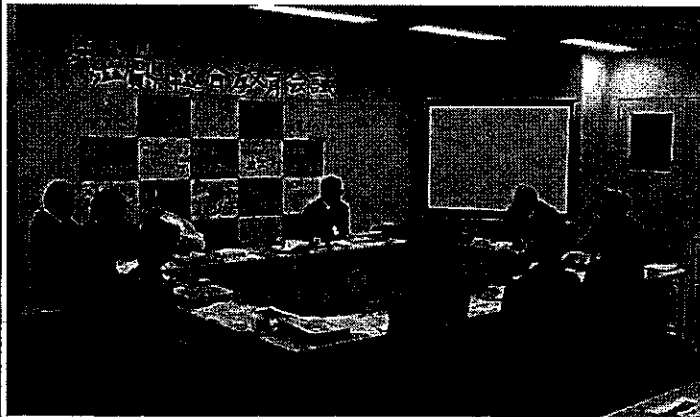
### 2. 本県における職業人(産業人材)の育成について

【ヒアリング】

1. (株)キャノンマシナリー

専務取締役経営管理センター所長 菊次 正純 氏

2. (株)市川農場 代表取締役 市川 健治 氏



## 主な意見等

### 《1. 本県における特別支援教育について》

事務局からデータに基づき特別支援教育の現状や課題等について説明し、続いて、野洲養護学校長から現場の現状等について説明。その後、校長を交えて質疑や意見交換。

- ・インクルーシブを進めるに当たって、通常学級での対応が重要であり、特別支援学校が指導的立場となって包括的なシステムづくりを行い、それを指導主事が中心となって現場の先生に伝えていく必要がある。
- ・大阪市立大空小学校の前校長の木村泰子先生がおっしゃるように、学校は頑丈なスーツケースではなく風呂敷のように形を柔軟に変えながら一人ひとりの生徒に対応していく場である必要がある。
- ・特別支援学校がセンター機能を発揮し地域の小学校の先生の相談等に対応できるようにするべきであるが、実際には現場は多忙であり、今以上の機能を発揮することが難しい現状がある。
- ・中学生チャレンジウィークを受け入れているが、一人ひとりの生徒に対応するということは、お客様に対応することと同じではないか。もっと企業と連携すれば、サービス業などへの就業が進むのではないか。
- ・子どもや保護者、教員等が不安を抱えており、それを払しょくする必要がある。そのためには不安を抱える人を繋ぐ必要があり、企業と学校が持つノウハウをマッチングすることで不安が解消されていくのではないか。

### 《2. 本県における職業人(産業人材)の育成について》

(株)キャノンマシナリー 菊次氏、(株)市川農場 市川氏からそれぞれ職業人の育成に関するプレゼンをいただき、その後、両者を交えて質疑や意見交換。

- ・あいさつや礼儀、また、失敗から学べる力が重要である。
- ・人間には無限の力があるということをいかに心から思わせることが出来るかが重要である。
- ・新しいことに挑戦する際には、余計な知識がない方が良い。素人感覚を大切にすべきということを伝えたい。
- ・学校教育では正解を教える教育になっているが、生きる力をつけるためには、正解を求めるよりも感謝の気持ちや失敗から学ぶということが大事だと思った。
- ・今の教育は一人ひとりの能力を上げることに主眼が置かれているが、チームを組み力を合わせることで自分一人ではできない大きなことが出来るということを教えることが重要であり、他者を尊重することを教育で十分に教えることが必要である。

